（別表第１の３）

［認知症対応型共同生活介護用］

# 1． 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 25 日

【評価実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 3870102245 | | |
| 法人名 | 石井オアシス・ケアサービス有限会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム おあしす | | |
| 所在地 | 松山市北久米町1004-7 （電 話） 089-958-8206 | | |
| 管理者 | 谷村 洋子 | | |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 | | |
| 所在地 | 愛媛県松山市持田町三丁目8－15 | | |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 11 月 12 日 | 評価確定日 | 平成 20 年 12 月 26 日 |

【情報提供票より】 （平成 20 年 10 月 8 日事業所記入）

（１）組織概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設年月日 | 平成 13 年 11 月 5 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 2 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 7.4 人 | |

（２）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 35,000 円 | | その他の経費（月額） | 13,000 円 |
| 敷 金 | 有（ ）円 | | ○ 無 | |
| 保証金の有無（入居一時金含む） | 有（ ）円<br>○ 無 | | 有りの場合償却の有無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | 円 | | |

（３）利用者の概要 （平成 20 年 10 月 8 日事業所記入）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 2 名 | 女性 7 名 |
| 要介護１ | 2 名 | 要介護２ | 1 名 |
| 要介護３ | 1 名 | 要介護４ | 3 名 |
| 要介護５ | 2 名 | 要支援２ | 名 |
| 年齢 | 平均 83 歳 | 最低 65 歳 | 最高 93 歳 |

（４）他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

| | |
|---|---|
| 指定 あり | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 なし | 指定認知症対応型通所介護 |
| 届出 なし | 短期利用型共同生活介護 |
| 加算 あり | 医療連携体制加算 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑が残る住宅地の中にあり、二階建ての建物の一階にある１ユニットのホームである。ゆったりとした雰囲気の中、利用者一人ひとりが思い思いの生活を送っている。職員は明るく、良い人間関係が築かれており、生き生きとケアにあたっている。食には特にこだわりを持って取り組んでおり、心を込めて作る料理は利用者にもに喜ばれており、食事が楽しみのひとつとなっている。

【質向上への取組状況】

**▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）**

管理者及び職員は、評価の意義を理解した上で結果を踏まえたサービスの改善に意識的に取り組んでいるが、今年度にホームが移転したこともあり、移転作業等による多忙のためか、前回評価の改善項目全てに対応することはできていない。

**▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）**

二人一組で手分けして自己評価に取り組んでいる。職員の意識を統一し、共通理解とするため、自己評価の項目一つ一つについて丁寧に検討し、改善点等について十分な対応がされているとは言えない。

**▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）**

様々な立場の方に運営推進会議に参加してもらおうと試みを行っているが、メンバーの選出に苦慮している。地域からの参加者がやや少なく、会議の主な内容はホーム側の状況報告になりがちであるが、内容に工夫を重ね意義ある会議に変えていこうと努力をしている。

**▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）**

家族から意見等が出やすいよう積極的に運営推進会議に参加してもらうなどの工夫をしているが、現在のところ苦情等は寄せられていない。危険箇所などについて意見をもらい、改善につないだケースはある。

**▼ 日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）**

ホームの周辺や散歩中に出会う方にあいさつなどの声かけをしているが、まだホームが移転して間もないこともあり、現在のところは十分な交流ができているとは言えない。引き続き、町内会や民生委員などを含めた地域との連携を深め、関係づくりに取り組むことを期待したい。

（別表第1の2）

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目
（評価項目の構成）

Ⅰ.理念に基づく運営
1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をＰＲ!!!

―サービス向上への３ステップ―
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】
- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居（ユニット）ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

（注）自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。（他に「家族」に限定する項目がある）
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
- 職　員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

| | |
|---|---|
| 事業所名 | 石井オアシス　ケアサービス有限会社 |
| （ユニット名） | グープホーム　おあしす |
| 記入者（管理者） | |
| 氏　名 | 谷村　　洋子 |
| 評価完了日 | 平成　20　年　10　月　8　日 |

（別表第１）

# 自 己 評 価 及 び 外 部 評 価 票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ．理念に基づく運営**<br>**１．理念と共有** | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br>　地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | （自己評価）<br>利用者の方が、笑顔で安心して生活していただけるように支援している。 | | 移転して、まだ地域の方々と交流が少ないが、運営推進会議や　毎日の生活の中で地域の方々が気さくに訪問したり　声をかけていただけるようにしていきたい。 |
| | | | （外部評価）<br>常に利用者を中心にすえ、笑顔で安心して過ごして欲しいという理念をもとに、「穏やかで、家庭的な生活を支援していく」という具体的な理念を掲げている。地域の中であたりまえに生活をして欲しいとの思いをもっており、地域との繋がりをつくろうと努めている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br>　管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | （自己評価）<br>理念に基づき、毎日の生活の中で気づきを話し合い支援をおこなっている。 | | 毎日の引継ぎの際や月末のミーティング等で問題点や利用者のニーズを話し合い　よりよい介護に向けて取り組みたい。 |
| | | | （外部評価）<br>ミーティング時に話し合うだけでなく、毎日の引継ぎ時には理念を反映した支援ができているか確認し合い、ケアの向上につなげている。 | | |
| 3 | | ○家族や地域への理念の浸透<br>　事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | （自己評価）<br>運営推進会議や面会時に　暮らしつづけることを大切にした理念を理解してもらえるよう働きかけをしたり　近況報告をおあしす新聞や電話にて行っている。 | | おあしす新聞を発行したり、運営推進会議に　地域の方に出席していただいている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **２．地域との支えあい** | | | | | |
| 4 | | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | （自己評価）<br>利用者の方が、散歩時、犬に声を掛けたり　挨拶をしたりしてコミュニケーションを楽しんでいる。又保育園児との親睦も楽しみにされている。 | | 近隣の方に秋の行事「芋炊き」などの行事に参加して貰ったり、少しずつ新しい施設に立ち寄って貰える様にしたい。 |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | （自己評価）<br>移転して行事ごとには　まだ参加できていないが、お年寄りに　遊びにきてくださいな　と声かけしたり、田んぼに来ている方とコミュニケーションをとっている。 | | 町内会や民生委員との連携を図って行きたい。 |
| | | | （外部評価）<br>ホームの近隣住民など、散歩中に出会う方にあいさつなどの声かけをしているが、まだホームが移転して間もないこともあり、現在のところは十分な交流ができているとは言えない。 | ※ | 引き続き、町内会役員や民生委員などを含めた地域住民と連携を深め、関係づくりに取り組むことを期待したい。 |
| 6 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | （自己評価）<br>近隣の方からの御相談や質問について丁寧に対応している。 | | 町内会長さんや民生委員さんとの連携を取り組みたい。 |
| **３．理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | （自己評価）<br>評価を活かし、改善出来る事は職員全員が取り組む様にしている。 | | 運営者、管理者、職員が指摘に対して改善に取り組んでいる。 |
| | | | （外部評価）<br>管理者及び職員は、評価の意義を理解した上で、結果を踏まえたサービスの改善に取り組んでいるが、今年度にホームが移転したこともあり、移転作業等による多忙のためか、前回評価の改善項目全てに対応することはできていない。 | ※ | 職員の意識統一をするためにも、自己評価の項目一つ一つについて丁寧に検討し、改善点等について十分な対応をしていくことを期待したい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | （自己評価）<br>２ケ月に１回実施しており、情報交換や意見をサービス向上に活かしている。 | | 出席出来ない職員すべてに告知し、サービス向上に活かす様努めている。 |
| | | | （外部評価）<br>様々な立場の方に参加してもらおうと試みを行っているが、メンバーの選出に苦慮している。地域からの参加者が少なく、会議の主な内容はホーム側の状況報告となりがちである。今後内容に工夫を重ね、より有意義な会議にしていこうと努めている。 | | |
| 9 | 6 | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | （自己評価）<br>施設長が松山市介護課、高齢福祉課、社協等を訪問し意見交換を行っている。 | | サービスの質の向上に取り組む為、市町村担当者の方に質問や相談等を行っている。 |
| | | | （外部評価）<br>開設以来５年が経過しているため、市担当者とも顔馴染みの関係ができており、相談も気兼ねなく行うことができている。 | | |
| 10 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | （自己評価）<br>知識取得に努力し、御家族との御話し合いや相談にも対応している。 | | 研修会に参加し、職員全体に資料をプリントにて配布する。 |
| 11 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | （自己評価）<br>毎日の申し送りで利用者さんの様子や変化を常に話し合ったり、尋ねたりしている。言葉使いや態度など職員が話し合い気をつけている。 | | 研修会に参加し、職員全体に資料を配布している。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| ４．理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | （自己評価）<br>御契約時等は、御利用者や御家族が納得される様、丁寧に質疑応答を行っている。 | | 施設内での日常生活等を見学して頂き、御利用者が楽しく生活して頂ける様支援している旨を説明する。 |
| 13 | | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | （自己評価）<br>御利用者の意見、不満、苦情等を受け止め、御家族と一緒に考えて支援出来る事は実行している。 | | 利用者が少しでも自分らしく自立した生活が出来る様に努めている。 |
| 14 | 7 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | （自己評価）<br>来訪出来る御家族は定期的に来て頂き、その他の御家族は電話やおあしす新聞等で御知らせしている。 | | 行事ごとや「おあしす新聞」 |
| | | | （外部評価）<br>家族の来訪時に、利用者の健康・生活状況等について報告している。ホームの利用料はできるだけ現金払いとしてもらうことで、月に一度は家族に来訪してもらえる機会をつくっている。健康状態の細かい変化などは、その都度管理者が家族に電話で報告している。 | ※ | 生活を共にしていない家族は、利用者の日々の様子を詳細に知りたいという思いがあるため、電話連絡及び文書や写真でもよりこまめに伝えていくことを期待したい。 |
| 15 | 8 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | （自己評価）<br>来訪時や電話で近況報告した際、意見や要望をお聞きし、職員全体でミーティングを行い対応している。 | | 近況報告したい御家族に連絡出来ない事があり、連絡が取れる様に御願いをしている。 |
| | | | （外部評価）<br>家族から意見等が出やすいよう積極的に運営推進会議に参加してもらうなどの工夫をしているが、現在のところ苦情等は寄せられていない。危険箇所などについて意見をもらい、改善につないだケースはある。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 16 | | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | （自己評価）<br>管理者が日報や経営者会議で職員の意見や提案を伝えて反映している。 | | 運営者に月１回月報をメールにて報告している。 |
| 17 | | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | （自己評価）<br>利用者の状況に合わせ調整をしている。 | | |
| 18 | 9 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | （自己評価）<br>なるべく移動の無いようお願いをしている。利用者の方が精神の安定のために。 | | |
| | | | （外部評価）<br>利用者との馴染みの関係づくりが大切であることを周知徹底しており、また職員のストレスなどにも配慮して、できるだけ異動がないよう努めている。 | | |
| ５．人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | （自己評価）<br>グループホームの会に出席して問題点や悩み等をお互い話し合ったりしている。 | | 研修等に参加させ、介護に関する内部研修を実施していきたい。 |
| | | | （外部評価）<br>月一回のミーティング時に勉強会をすることもあるが、非常勤職員が多いため参加できる職員が少なく、組織立てた研修に十分結びついているとは言えない。 | ※ | ケアの質の向上のためには研修を欠かすことはできないので、常勤・非常勤にかかわらず、段階に応じた研修を受ける機会を確保していくことが求められる。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 20 | 11 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | （自己評価）<br>実習生の研修を受け入れ、相互訪問の活動を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。<br>（外部評価）<br>地域包括支援センターが中心となり、地域のグループホームの交流会を３か月に１度開催している。また、近隣グループホームとも利用者及び職員の交流を行っている。 | | |
| 21 | | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | （自己評価）<br>管理者は職員のストレスを緩和する様努力している。 | | 職員の心理安定を図る様心掛けている。 |
| 22 | | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | （自己評価）<br>職員の資格取得への支援をしている。 | | 若いパート職員が正職員に起用される様働きかけをしたり、職員の定着化に努力している。 |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援**<br>**１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応** | | | | | |
| 23 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | （自己評価）<br>御本人に要望や困っている事を聞き、不安を少しでも解消出来る様、職員全員が話し合っている。 | | 利用者の状態や困っている事、要望を把握出来る様、事前に面談している。 |
| 24 | | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | （自己評価）<br>入居前の面談時に御家族の要望や困っている事に対応出来る様に話し合っている。 | | 入居前に、御本人と御家族にホームを訪れて貰い、雰囲気やムードを感じて貰い、また説明も行っている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 25 | | ○初期対応の見極めと支援<br>　相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | （自己評価）<br>当施設のサービスを理解して貰い　御本人や御家族が求めている支援を理解し対応できるよう努力している。 | | アセスメントをし，利用者，家族が不安を感じず、利用できるよう、支援している。 |
| 26 | 12 | ○馴染みながらのサービス利用<br>　本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | （自己評価）<br>本人が馴染めるように、コミュニケーションをとり　御家族等に、様子や状態を知らせたり　相談したりしている。 | | |
| | | | （外部評価）<br>入居希望者には事前にホームを見学してもらったり、職員が自宅や病院等を訪問し、関係者から利用者の健康状態をはじめ様々な情報を集め、スムーズに入居し、生活に馴染めるよう配慮している。 | | |
| **２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援** | | | | | |
| 27 | 13 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>　職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | （自己評価）<br>利用者さんの得意なことや、若いときのお話を聞かせてもらい楽しい時間を大切にしている。 | | 一緒に買い物に行ったり、　散歩したり、お料理のお手伝いをしてもらったりしている。 |
| | | | （外部評価）<br>利用者が職員と一緒に、できることを実践しながら生活する中で、時には友だちや親子のような関係をつくりながら、本人と共に支えあう関係を築いている。 | | |
| 28 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>　職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | （自己評価）<br>來設された時は、楽しかった事や日頃の様子をお話している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 29 | | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>　これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | （自己評価）<br>行事ごとに参加してもらうように声掛けしている。 | | いも炊き会などの行事 |
| 30 | | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>　本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | （自己評価）<br>友人・知人の来訪を歓迎している。 | | 利用者がしようとされていることを支援している。 |
| 31 | | ○利用者同士の関係の支援<br>　利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | （自己評価）<br>食事後やおやつの時間、職員や利用者と会話を楽しみ、利用者同士の仲介役をしている。 | | 言葉で表現できない方も、声掛けを行い支え合えるよう努めている。 |
| 32 | | ○関係を断ち切らない取り組み<br>　サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | （自己評価）<br>時々、お便りしたり電話で様子を聞いている。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント<br>１．一人ひとりの把握** | | | | | |
| 33 | 14 | ○思いや意向の把握<br>　一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | （自己評価）<br>利用者の関わる中で思いや希望を把握するよう努めている。言葉で表現できない方は、若い時のことをご家族に聞いたり、表現・反応で把握するよう努めている。 | | 言葉で表現できない方は、ご家族と連携を取りいろんな取り組みを試みている。 |
| | | | （外部評価）<br>家族から提供される情報だけでなく、日常生活の中で利用者に寄り添い、本人の様子や言葉の端々から意向や希望を汲み取り、職員全員で共有し、ケアに活かしていけるよう取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 34 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | （自己評価）<br>日常の生活の中の会話やご家族からの情報などで生活背景を把握し、暮らしのなかに活かしていけるよう努めている。 | | 一緒にできることを見つけたり、買い物に誘ったり、生きがいのある生活をしてもらうように努めている。 |
| 35 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | （自己評価）<br>個人の生活のリズムを大切にし、体調にあった生活をしてもらう。 | | |
| ２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | （自己評価）<br>利用者が望むことや、ご家族の要望等を取り入れたケアプランを作成し、月一回のミーティングで職員の意見をとりいれた支援を行っている。 | | |
| | | | （外部評価）<br>家族の要望等を聞き、ミーティング時に職員で意見を出し合い、管理者が利用者の個別援助計画を作成している。職員の気づきや思いが十分に反映されているかどうかの検討がやや不十分な感がある。 | ※ | 利用者一人ひとりの介護計画について、全ての職員が理解した上で、改善を加えながら日々のケアに取り組んでいくことを期待したい。 |
| 37 | 16 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | （自己評価）<br>利用者さんの得意なことや、若いときのお話を聞かせてもらい楽しい時間を大切にしている。状況や変化に合わせたケアプランを作成している。 | | |
| | | | （外部評価）<br>３か月ごとに見直しを行っているほか、利用者の状態変化等に応じて適宜見直しを行っている。具体的なサービス内容を日々評価した評価表と、管理者がまとめた支援経過を見直し時に役立てている。 | ※ | 具体的なサービス内容に対して日々評価を行っているが、援助の内容を常に意識して、評価の根拠を介護日誌に記載しておくことが望ましい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 38 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | （自己評価）<br>日々の様子やケアの記録をわかりやすくし連絡ノートにより、小さな変化も共有し、介護計画に活かしている。 | | |
| **３．多機能性を活かした柔軟な支援** | | | | | |
| 39 | 17 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | （自己評価）<br>個々の状況や要望を職員全員が話し合い柔軟な対応を支援している。<br>（外部評価）<br>かかりつけ医への受診支援、理美容の援助、往診や訪問看護による健康管理など、利用者の要望に応えられるよう様々な支援を行っている。 | | いろいろな試みを実践し、利用者の要望に近づけるよう支援している。 |
| **４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働** | | | | | |
| 40 | | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | （自己評価）<br>民生委員・町内会長・公民館長・消防署・保育園等の協力を得ている。 | | |
| 41 | | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | （自己評価）<br>同じ敷地内の居宅のケアマネージャーの協力を得たり、介護タクシーのサービスを利用している。 | | |
| 42 | | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | （自己評価）<br>地域包括支援センターには運営推進会議に出席していただき、情報の交流を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 43 | 18 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | （自己評価）<br>協力医療機関に週６回往診してもらい２４時間医療連携体制により、利用者に安心した医療対応を行っている。 | | 医療機関医で対応できない疾病については、専門医の受診や往診を積極的に行っている。 |
| | | | （外部評価）<br>日常の健康管理については協力医療機関がかかりつけ医と連携をとり、毎日の往診によって支えている。専門医の受診については同行する家族に日常の状態を詳しく説明し、診療に支障のないよう支援している。 | | |
| 44 | | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | （自己評価）<br>往診医に日々の様子や状況報告をし、相談や診断をしてもらっている。 | | |
| 45 | | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | （自己評価）<br>協力医療機関の看護師の訪問時に相談している。 | | |
| 46 | | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | （自己評価）<br>地域医療連携室と相談しながら、利用者を定期的に面会し早期退院できるよう対応している。 | | |
| 47 | 19 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | （自己評価）<br>看取りの指針を作成し、利用者・ご家族に説明し、かかりつけ医等と話し合いを行っている。 | | 看取りの研修等に参加し、職員全員に伝えている。 |
| | | | （外部評価）<br>看取りの指針を作成しており、入居時に詳しく説明し、利用者及び家族の意向を確認している。協力医の往診が定期的にあり、必要に応じて話し合いや確認を行うことができている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 48 | | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>　重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | （自己評価）<br>入居時、利用者・ご家族とターミナルに対する考えを話しあい、出来ること出来ないことについて伝えるようにしている。かかりつけ医とは常に検討している。 | | 利用者・ご家族の希望を尊重しつつ、職員同士連携を取り対応できるところまで支援している。 |
| 49 | | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>　本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | （自己評価）<br>当ホームでの普段の様子・生活のリズム・暮らしぶり等を移行先に情報提供をしている。 | | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**<br>**１．その人らしい暮らしの支援**<br>（１）一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | ○プライバシーの確保の徹底<br>　一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | （自己評価）<br>年長者への尊厳を損なわないように言葉づかい・対応に日々注意している。個人情報の取り扱いについても重要性を全員が理解している。 | | |
| | | | （外部評価）<br>トイレの誘導や入浴の介助時等の言葉遣いについて、親しみを込めたつもりでも利用者にとっては不快となっている場合もあるので、十分な配慮が必要である。 | ※ | 利用者一人ひとりの尊厳を守るということはどういうことか、職員間で常に話し合い、共通理解をもっておくことが求められる。 |
| 51 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>　本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | （自己評価）<br>自己決定を尊重し、自己決定が困難な利用者については愛情のある推測により職員が決めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 52 | 21 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | （自己評価）<br>できるだけ利用者のペースを優先するように心がけている。人員、その日の状況、日常の介護に追われ、スタッフの都合で対応している場合もある。<br>（外部評価）<br>一律に支援するのではなく、利用者それぞれの力に応じた支援を大切にし、達成感や満足感を感じながら生活できるよう心がけている。 | | |
| （２）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている | （自己評価）<br>衣服を利用者の意向で決めたり、整容をご自分でされる方もいる。理容・美容については、利用者の経済面の負担軽減や携わりという部分を重視し、職員が理容を整えている。 | | |
| 54 | 22 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | （自己評価）<br>利用者の要介護度が重かったり、興味がなかったりして常に準備や後片付けはできないが、テーブルを拭いてもらったり、野菜を切ってもらったり、皮をむいてもらったりの簡単な作業の手伝いはお願いしている。<br>（外部評価）<br>季節感あふれた献立を考え、利用者と一緒に食事の準備を行うなどして楽しんでいる。嚥下体操や口腔ケアを実施し、食事中も座席の工夫をしたり、会話をしながら食べている。 | | |
| 55 | | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | （自己評価）<br>一人ひとりに合わせることは難しいが、一緒に買い物に行った時におやつを選んでもらったりしている。また、職員が手作りのお菓子などを作ったりして楽しんでいただいている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 56 | | ○気持よい排泄の支援<br>　排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | （自己評価）<br>昼間は出来るだけトイレ誘導し介助している。重度の利用者も排泄の前のサインを見逃さないように気をつけている。 | | |
| 57 | 23 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>　曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | （自己評価）<br>３日に１度を目安に入浴していただいているが、介助を必要とする方がほとんどであり、職員の人員にも限りがあるため、入浴時間等のスケジュールはホーム側で決めている。<br>（外部評価）<br>全員が３日に１度は入浴できるよう、声かけに工夫をしている。午後はレクリエーションや散歩が多いため、多くの場合は午前中に入浴を行っている。 | | |
| 58 | | ○安眠や休息の支援<br>　一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | （自己評価）<br>利用者のペースで休息できるようにお昼寝をしていただいていている。 | | |
| （３）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>　張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | （自己評価）<br>利用者の出来ること出来ないことを把握し、洗濯物たたみや他の家事、散歩、買い物などをしていただけるように支援している。<br>（外部評価）<br>料理の下ごしらえ、洗濯物の片付けなどの家事を手伝ってもらっているほか、楽しみごととして、にぎり寿司大会やボーリング大会を開催したり、ぬり絵、新聞、歌、散歩の支援など、利用者それぞれがやりたいことをできるよう配慮している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 60 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | （自己評価）<br>利用者自身が管理することは難しく、ほとんどはホーム側で管理しているが、買い物に行った時にご自分で支払いができるように支援している。 | | |
| 61 | 25 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | （自己評価）<br>天候の良い日には散歩や日光浴を行っている。また、要介護度が軽度の方は週に１回程度は買い物にも同行してもらったりしている。<br>（外部評価）<br>散歩、買い物など、利用者が希望する所に出かけられるよう支援している。 | | |
| 62 | | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | （自己評価）<br>家族と出かけることができるようにご家族来訪時に勧めている。 | | |
| 63 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | （自己評価）<br>いつでも外部との連絡が取れるようにしている。要介護度の軽度の方は、電話を利用されたり手紙をやりとりされたりしている。 | | |
| 64 | | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | （自己評価）<br>面会時はお茶を出したり、ご自由に利用者と会話したり、時を過ごせるよう雰囲気作りに心がけている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| （４）安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | （自己評価）<br>身体拘束に関する基礎知識を全員で理解している。利用者の安全確保の上で必要な身体拘束については、ご家族に十分に説明し書面上にて確認して実施している。 | | |
| 66 | 26 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | （自己評価）<br>鍵をかけないようケアを努めている。<br>（外部評価）<br>利用者の動向を十分に理解していることもあり、鍵をかける必要はないと考えており、玄関や居室に鍵はかけていない。 | | |
| 67 | | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | （自己評価）<br>夜間は３時間ごとに巡回をし、利用者の体調の悪いときはとくに注意し巡回している。日中は職員間で情報を伝達している。 | | |
| 68 | | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | （自己評価）<br>注意の必要な物品は、職員間で話し合い利用者の状態に応じて対応している。 | | |
| 69 | | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | （自己評価）<br>介護職員は経験豊富であり、状況に合わせた中で利用者が安全第一に生活できるように相互の知識を出し合い努力している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 70 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | （自己評価）<br>緊急対応マニュアルを作成し職員全員が周知している。 | | |
| 71 | 27 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | （自己評価）<br>消防署の指導の下避難訓練を行ったり、普段から職員の中で避難方法を考えている。 | | 地域住民に協力をお願いしていきたい。 |
| | | | （外部評価）<br>消防署の指導による避難訓練を実施しており、緊急時のマニュアルも作成している。また、緊急時連絡先を事務室に掲示し、非常時の備えと職員の意識啓発を行っている。 | ※ | 避難訓練の機会等を活用して、災害時に地域から支援を受けられるようなシステムを構築するとともに、地域との関係を十分に深め、協力体制を整備していくことを期待したい。 |
| 72 | | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | （自己評価）<br>日常の中で起こりうるリスクについてご家族と話し合い対応策を検討している。 | | |
| （５）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | （自己評価）<br>利用者の顔色・表情・言動・バイタルチェックなどにより、些細な異変にも気づけるように努めている。また気づいたときは、協力医療機関の医師と相談し適切な対応をしている。 | | |
| 74 | | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | （自己評価）<br>利用者の服薬ファイルを閲覧しやすい場所に配置し、確認しやすくしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 75 | | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | （自己評価）<br>出来るだけ自然排便が出来るようにトイレ誘導し、腹部マッサージを行ったり、普段からの水分補給の声掛けを行ったりしている。また、協力医療機関の医師とも相談し、指導していただいている。 | | |
| 76 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | （自己評価）<br>毎食後、口腔ケアを行っている。利用者自身が出来る場合は声掛けにてご自身で行っていただいている。また１カ月に１回は訪問歯科に往診していただき、口腔ケアや入れ歯のメンテナンスを行っていただいている。 | | |
| 77 | 28 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | （自己評価）<br>細かなカロリー計算は行っていないがカロリー表を目安にしながら、食事の彩・バランス・季節感に配慮し、旬の食材を使った食事を提供している。食事量については３度の食事後に主食と服飾に分別し。１０段階で計測している。また、水分についても利用者の状況に合わせて水分量をコントロールしている。<br>（外部評価）<br>食にこだわりがあり、季節感のある、見て・食べて美味しい食事を目指している。栄養バランス、必要なカロリー、水分量にも十分配慮しながら適切な支援を行っている。 | | |
| 78 | | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等） | （自己評価）<br>感染症予防マニュアルを作成し、職員には徹底している、また、ホーム入室時は手洗い等を励行している。特に、インフルエンザについては職員・利用者ともに予防接種を行っている。 | | |
| 79 | | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | （自己評価）<br>まな板や布巾等は毎晩オスバン液にて消毒しており、食材は毎日購入し、冷凍庫や冷蔵庫に日付を確認保存し、衛生管理・食材の鮮度等の管理を徹底している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| ２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>（１）居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | （自己評価）<br>ブロック塀を使用せず、フェンスの塀にし外から中の様子が分かりやすいように工夫している。目立ちやすい外観の色にしている。 | | |
| 81 | 29 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | （自己評価）<br>窓から外の景色が見やすいような作りにし、外からの光で冬でも明るいようにしている。フロアーなどには花を生けたりして季節感を出している。 | | |
| | | | （外部評価）<br>窓を広くとっているため光がよく入り、小高い山や田畑を見渡すことができる。建物も新しく、清潔で気持ちが良い空間となっている。玄関先などのちょっとしたスペースにベンチなどを配置し、利用者ごとのお気に入りの場所を提供している。 | | |
| 82 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | （自己評価）<br>共有スペースは狭いが、玄関先にベンチを置いてひとりになたり、ちょっとした話ができるスペースを作っている。 | | |
| 83 | 30 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | （自己評価）<br>居室にはご自身が使い慣れたものを持ち込まれている。 | | |
| | | | （外部評価）<br>十分な広さがあり、小物入れ、整理箱、イスなど馴染みのものを自宅などから持ち込んでいる。壁には思い出の写真や飾りを貼り、暖かい雰囲気をつくっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　　目 | 取組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ※印<br>（取組みたい又は取組みを期待したい項目） | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 84 | | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | （自己評価）<br>朝の掃除の際に居室の喚起を行っている。室温についても利用者の体調に配慮しながら、エアコン等により室温調整をこまめに行っている。 | | |
| （２）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | （自己評価）<br>廊下を広く取り手すりを設け機能訓練が出来るようにしている。 | | |
| 86 | | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | （自己評価）<br>居室の前には各部屋に名前と写真を貼り、自分の部屋がわかりやすいようにしている。 | | |
| 87 | | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | （自己評価）<br>駐車場で日光浴をしたり、ボール投げ等をして楽しんでいる。 | | |

（注）
1　　部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
2　全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

## Ⅴ．サービスの成果に関する項目

| | 項　　目 | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を○印で囲むこと） | 判断した具体的根拠 |
|---|---|---|---|
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ① ほぼ全ての利用者の<br>（自己評価）2 利用者の２/３くらいの<br>3 利用者の１/３くらいの<br>4 ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ① 毎日ある<br>（自己評価）2 数日に１回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | 1 ほぼ全ての利用者が<br>（自己評価）② 利用者の２/３くらいが<br>3 利用者の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ① ほぼ全ての利用者が<br>（自己評価）2 利用者の２/３くらいが<br>3 利用者の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | 1 ほぼ全ての利用者が<br>（自己評価）2 利用者の２/３くらいが<br>③ 利用者の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ① ほぼ全ての利用者が<br>（自己評価）2 利用者の２/３くらいが<br>3 利用者の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | 1 ほぼ全ての利用者が<br>（自己評価）② 利用者の２/３くらいが<br>3 利用者の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ① ほぼ全ての家族と<br>（自己評価）2 家族の２/３くらいと<br>3 家族の１/３くらいと<br>4 ほとんどできていない | |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | 1 ほぼ毎日のように<br>（自己評価）2 数日に1回程度<br>③ たまに<br>4 ほとんどない | |

| 項　　目 | | 取り組みの成果<br>（該当する箇所を○印で囲むこと） | 判断した具体的根拠 |
|---|---|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | （自己評価）<br>1 大いに増えている<br>② 少しずつ増えている<br>3 あまり増えていない<br>4 全くいない | |
| 98 | 職員は、活き活きと働けている | （自己評価）<br>1 ほぼ全ての職員が<br>② 職員の２/３くらいが<br>3 職員の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | （自己評価）<br>1 ほぼ全ての利用者が<br>② 利用者の２/３くらいが<br>3 利用者の１/３くらいが<br>4 ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | （自己評価）<br>1 ほぼ全ての家族等が<br>② 家族等の２/３くらいが<br>3 家族等の１/３くらいが<br>4 ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

（自己評価）
清潔で健全に生活できるように職員全員が心がけ、理念に沿った支援が出来るよう努力している。食事は、利用者の方が楽しみにされているため、　季節感を取り入れ利用者に合った食事を提供している。利用者には、おいしいといつも言っていただき職員もそれが励みにもなり　がんばっている。